

平成 28 年度事業計画書

1. 28 年度事業の実施方針

新しい方向性を追求し、多くの皆様に親しまれる博物館として、その役割を問われながら今日を迎えておりますが、昨今、国から博物館の無料化に圧力がかかってきております。これは文化に接する機会を万人に与え、ミュージアム本来の精神を来館者に知っていただくため打ち出された施策だそうです。では、勝山城博物館のような有料博物館が生き残っていくためにはどうすれば良いのか大きな転換を迫られております。これまでのような曖昧な目的意識では博物館を守ることが難しくなってきたという事です。

そこで「地域に根ざし且つ全国的にも勝山城博物館でなければならない。」という売りとなるものが必要となっておりまいます。当館が持つ収蔵品の一つ「西脇呉石コレクション」はそれに値するものと思ひます。

現在1000点をゆうに超す作品の調査研究を進めているところで、「呉石没後50年」にあたる平成32年に勝山市との連携事業である特別展覧会でご覧いただく予定となっております。このような状況の中で、興味深いコレクションなど集めて展覧会をと思つてはみたものの、準備に要する人員や経費など考えるとそんな余裕もなく、今できる精一杯の事業計画となりました。

全国的に既設の博物館が様々な逆境にあえぐ中、多くの困難を乗り越えて勝山市と連携を結んだ当館は、これまで即座に整わなかつた展示品などの活用が出来るようになったり、この1～2年は多くの調査研究をはじめとする学芸業務にも重きを置くことで県内博物館との交流も進むなど、状況は大きく変化してきております。毎年開催する特別展示内容には勝山市の学芸員も携わり、内容の濃い展示会にさせていただいております事、心から感謝しております。

今後、もう一步前進し、学校教育に博物館が見学学習の支援をする仕組みを組み込めないものか、子供達の興味をさそいそうな「体験型展示」を加えたり、あるいは「勝山の歴史に触れるコーナーを設置、勝山の形立ちを知ってもらおう」等々、「展示を工夫し楽しく見てもらうことが出来たらいいな」と思ひを膨らませております。

一方、ジオパークに認定されております勝山市には山ほどの美しい自然や地形、施設があります。、当館はもとより恐竜博物館、はたや記念館ゆめお一れ勝山、大師山清大寺越前大仏、白山平泉寺歴史探遊館まほろば、等々 地域に根ざす数多くのお宝が満載です。町なかにも市民の方でさえ知らない小さなスポットが沢山あります。ジオパークの解説の場としても当館が果たせる役割は大きいものがあります。しっかりとした対応を心がけてまいりたいと思ひます。

また20数年を経た建物の設備や消防電気関係等々、年々劣化が進み修繕や交換など目立って多く生ずるようになりました。県の監査や定期点検など毎年受けなければならない厳しい状況のなか、来館者の安全を確保し、貴重な作品も確実に守っていけるよう少しづつリニューアルしながら継承してまいりたいと思ひます。

今年もその時々状況に立ち止まっては再度問い直し、文化活動の助長や博物館の本務でもある調査研究、展示事業などミュージアムの魅力を磨くことを心がけながら、よりよい博物館を目指してまいります。

2. 事業の概要

(1) 主な事業

①平成お天守塾「勝山城清明茶会」

日程 平成28年4月17日(日)

毎年好評を得ている「清明茶会」も10回目になります。今年は白山市、福井市、勝山市から先生方をお迎えし、濃茶・薄茶・野点・点心の席を設けます。北陸最大級のお茶会として継続することで、今では確実に各社の取材も見込めるようになりました。質でも北陸有数のお茶会を目指し、当館の更なるイメージアップと今後の来館者の拡大につなげます。

②平成お天守塾「ほほえみがこぼれるとき」フルート・オカリナ&ピアノコンサート

日程 平成28年4月23日(土)

友の会総会開催に合わせ、一般の来館者にも聴いていただけるライブコンサートを開催いたします。演奏者の浅川由美先生は音楽療法士としてご活躍されており、通常の音楽コンサートとは違ったトークも魅力的です。

③勝山市・勝山城博物館連携第3回共催展

「小笠原勝山藩」(仮題)

日程 平成28年7月20日(水)～9月30日(金)73日間無休

大河ドラマや昨年大阪の陣400年の影響で、28年度も江戸時代が注目される傾向は続くと思われれます。そこで3回目の共催展となる今回は江戸時代の勝山を治めた小笠原氏に焦点を当てます。200年ほどの治世を振り返りながら、勝山市民のみならず福井県全体へアピールできる展示を作り、関連講演会なども通じてより多くの方々の来館につなげます。

④納涼花火大会見物&ナイトミュージアム

日程 8月14日(日)午後7時から9時30分まで

当館展望台からの花火見物を行います。同時にナイトミュージアムとして展示室も観覧可能とし、通常見ることのない夜の博物館も楽しめる企画です。

⑤福井大学純邦楽のしらべ参

日程 9月の土曜日又は日曜日午後2時から3時まで(予定)

特別展覧会に付随したイベントとして今回3回目となる、福井大学邦楽部のみなさんによる純邦楽コンサートを開催します。特に人口減少が懸念される福井県で、勝山市は特に高齢化も進んでいます。大学生に当館へ来てもらえる機会を提供することで、将来的な来館者の獲得も目指します。

⑥信州ジャズコンサート「お城でジャズ Vol. 4」

日程 9月の土曜日又は日曜日

第4回目のジャズコンサートの開催を予定しています。専門プロのジャズグループによるコンサートであり、毎回福井県外からの集客もある人気イベントとなりました。

⑦お城でゴスペルⅣ

日程 10月初旬の日曜日

地元で行われているゴスペルグループの発表の場として、4回目となるゴスペルコンサートを開催いたします。地元グループとの繋がりを確保するとともに、当館が音楽を通じた文化的教養の発信拠点としても認知されるよう企図しております。2階ホールで観客ととても近い位置での迫力あるコンサートです。

⑧平成お天守塾「第11回 越前勝山城絵画作品展 お城を描こう」

日程 絵画作品募集期間 7月7日(木)～10月2日(日)

表彰式 11月6日(日)午後 2階障壁画前

展示会 11月6日(日)～11月27日(日)(予定)

11回目となる「お城を描こう」を開催いたします。今回も補助金の申請を予定しております。勝山市内全体に事業を説明し、当館の他のイベントも知っていただく格好の機会です。今回も応募資格には制限を設けず、少しでも多くのご応募をいただけるよう努めてまいります。

⑨新春特別陳列・新収品展

日程 平成29年1月1日(日)～1月31日(火) 31日間

近世絵画は光や湿度など外部環境に非常に敏感であるため、限られた期間しか陳列することができません。カビや虫の不安も少なく、客足が落ちる雪の時期に少しでも来館者を呼び込めるよう、新春に毎年恒例の特別陳列を行います。26・27年度と合戦図屏風を展示しましたので、今回はその他の屏風を陳列する予定です。

(2) 主な貸館事業

①月例茶会の開催

期間 5、7、9、11月の第1日曜日（計4回）

会場 2階和室「蘭月の間」

主催者 勝山市茶道連合会・勝山城博物館共催

お茶を希望される来館者に、抹茶を有料で提供いたします。茶道に親しみ博物館への理解を深めていただきます。今年で14年目となります。この他にも、随時当館の文化事業として相応しいイベントについて利用の働きかけを行うとともに、貸館の申し込みを受け付けます。今年度もピアノ教室の発表会などでの利用が見込まれます。

(3) 学芸活動

①燻蒸作業は、特別展開催のための作品搬入時に、燻蒸庫を利用して行います（館から立て替えた費用は、後に市から利用料を上乗せの上、全額振り込まれます）。

また、館蔵品につきましては、専用の防虫剤・調湿財の設置、除湿器及び加湿器の適切な稼働、さらには日々の清掃によって史料の保存に努めます。包み込みによる大規模燻蒸の予定はありません。

②調査研究活動では、福井県各地の学芸員や研究者との繋がりを確保してきたことで、昨年度天爵大神のミニ企画展をスムーズに行うことができ、新聞にも取り上げられることとなりました。西脇呉石コレクションの調査でも、昨年度書学書道史学会で発表を行うことで、全国的に当館の名を売り込む第一歩を刻むことができました。今年度も引き続き特徴ある博物館としての、さらなる認知度向上を図ります。

③平常展示では、3階平常展示の定期的な入替えを実施します。甲冑類は原則そのままに、装束と刀剣の入替えをメインといたします。銃砲類のメンテナンスや4階中国刺繍の入替えについても、できるだけ行ってまいります。さらに、4階企画展室に呉石コーナーを常設で設けることを検討してまいります。

④特別展では、主に勝山市史跡整備課の職員と連携し、公益財団であるからこそできる展覧会を企画してまいります。連携の名を冠するに恥じないレベルの展覧会の質を維持するとともに、博物館にあまり来られない方々や子どもにも分かりやすい展示方法を模索いたします。

(4) 勝山城友の会活動

① 総会・講演会の開催 4月23日 講師 浅川由美氏（音楽療法士）

② 館外研修旅行 5月25日石川県七尾市方面

③ 館外研修写真アルバムの編集・発行

- ④ 友の会だより第23号の編集・発行
- ⑤ 写真や版画など各種教室
- ⑥ 博物館事業の作業補助や展示会の監視員ボランティア

(5) 広報活動

主な事業について、各種マスコミでの報道、ポスターやチラシの郵送・配布を行います。また、ホームページや公式ツイッターも利用し、インターネットを通じた情報発信にも引き続き努めるほか、特別展では広報かつやまへの掲載や新聞折り込みなども行います。

3. 財団運営に関する会議の開催

- (1) 定例理事会の開催 2回（予算、決算）
- (2) 定例及び臨時評議員会の開催 2回

事業概要のご説明は以上となります。